

2009年9月14日

各 位

会 社 名 住友金属鉱山株式会社  
代表者名 代表取締役社長 家守 伸正  
(コード番号 5713 東証第1部)  
問合せ先 広報 IR 部 大場 浩正  
(TEL. 03-3436-7705)

### タグニート・プロジェクトの実施について

当社は、本日開催の取締役会において、当社 100%子会社である Taganito HPAL<sup>※</sup> Nickel Corporation (フィリピン共和国マニラ・マカティ市、資本金 540 万ペソ、事業内容：ニッケル・コバルト混合硫化物の製造、社長：藤村隆則。以下、「THPAL 社」。) が、以下のとおり、新たな事業を開始することについて決議しましたのでお知らせいたします。また、当社はフィリピン最大手のニッケル鉱山会社であるニッケル・アジア・コーポレーション (会長：マニュエル・B・サモラ・Jr、以下「NAC」) が THPAL 社に出資するとともに、今後共同で本プロジェクトを推進していくことを内容とする基本合意書を、本日締結いたしました。

※ HPAL (High Pressure Acid Leach: 高圧硫酸浸出)

#### 1. 事業開始の趣旨

今後世界のニッケル資源の確保には、低品位鉱石からのニッケル分の回収が必須ですが、HPAL 法はまさにこれまでニッケル分の回収が困難であった低品位のニッケル酸化鉱からニッケルやコバルトを回収する技術であり、当社はこの技術分野において現在世界のトップランナーとなっています。

当社は 2005 年 4 月にフィリピン・パラワン島の CBNC(コーラルベイ・ニッケル社、社長：藤村隆則)において、この HPAL 技術を用いた本格生産を開始し、その後世界ではじめて計画通りの商業生産を成功させました。また、この成功をもとに本年 4 月には CBNC における第 2 工場の垂直立ち上げを完了し、同社の生産能力を年間 1 万トンから 2 万 2 千トン (ニッケル量換算) へ増加させました。

このような実績を背景として、当社はこのたび HPAL 技術を用いたタグニート・プロ

プロジェクトを推進し、現状約 6 万 5 千トン／年のニッケル生産能力を 2013 年には 10 万トン／年とすることにより、世界トップクラスのニッケル製錬メーカーの地位を確固たるものにするとともに、従来から戦略目標としている「非鉄メジャークラス」入りに向けて邁進してまいります。

## 2. 新たな事業の概要

### (1) 新たな事業の内容

THPAL 社はフィリピン共和国ミンダナオ島北東部タガニート地区にてニッケル・コバルト混合硫化物を製造するタガニート・プロジェクトを推進し、諸施設が完成次第、引き続き生産を担います。

タガニート・プロジェクトは、HPAL 技術を用いた大型製錬プロジェクトです。NAC の子会社であるタガニート・マイニング社（社長：ジェラルド・H・ブリモ）が主にタガニート鉱山で産出する低品位ニッケル酸化鉱を原料として、ニッケル・コバルト混合硫化物（Nickel/Cobalt Mixed Sulfide ニッケル品位約 57%）を年間 3 万トン（ニッケル量換算）生産します。

### (2) 当該事業を担当する部門

本プロジェクトは現在当社の 100%子会社である THPAL 社が推進します。ただし、今後 NAC も THPAL 社に出資する予定です。

NAC は、世界有数のニッケル資源国であるフィリピンにおいて最大規模のニッケル鉱山会社であり、当社の重要な戦略パートナーです。NAC 傘下には、当社のフィリピン子会社である CBNC へ出資しているとともにニッケル鉱石を供給しているリオツバ・ニッケル・マイニング社があり、当社は本年 8 月に NAC へ資本参加（出資割合 16.5%）いたしました。

### (3) 当該事業開始のために支出する金額および内容

本プロジェクトの投資総額は 13 億ドルを予定しており、操業を行うプラント建設、およびアクセス道路、港湾施設、宿泊施設などのインフラ建設に主に支出します。なお、毎年の支出規模について現時点では未確定であるため、確定次第速やかに公表いたします。

## 3. 日程

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| (1) 取締役会   | 2009 年 9 月 14 日 |
| (2) 事業開始予定 | 2013 年 8 月      |
| (3) 操業予定期間 | 30 年間           |

4. 今後の見通し

2010年3月 建設工事開始

2013年3月 建設工事完了

2013年4月 試運転開始

2013年8月 商業生産開始

(参考) 当期連結業績予想(2009年9月7日公表分)および前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成22年3月期)	665,000	44,000	54,000	36,000
前期連結実績 (平成21年3月期)	793,797	10,534	32,572	21,974

(添付書類)

参考資料 タガニート・プロジェクト (Taganito Project) に関する補足説明事項

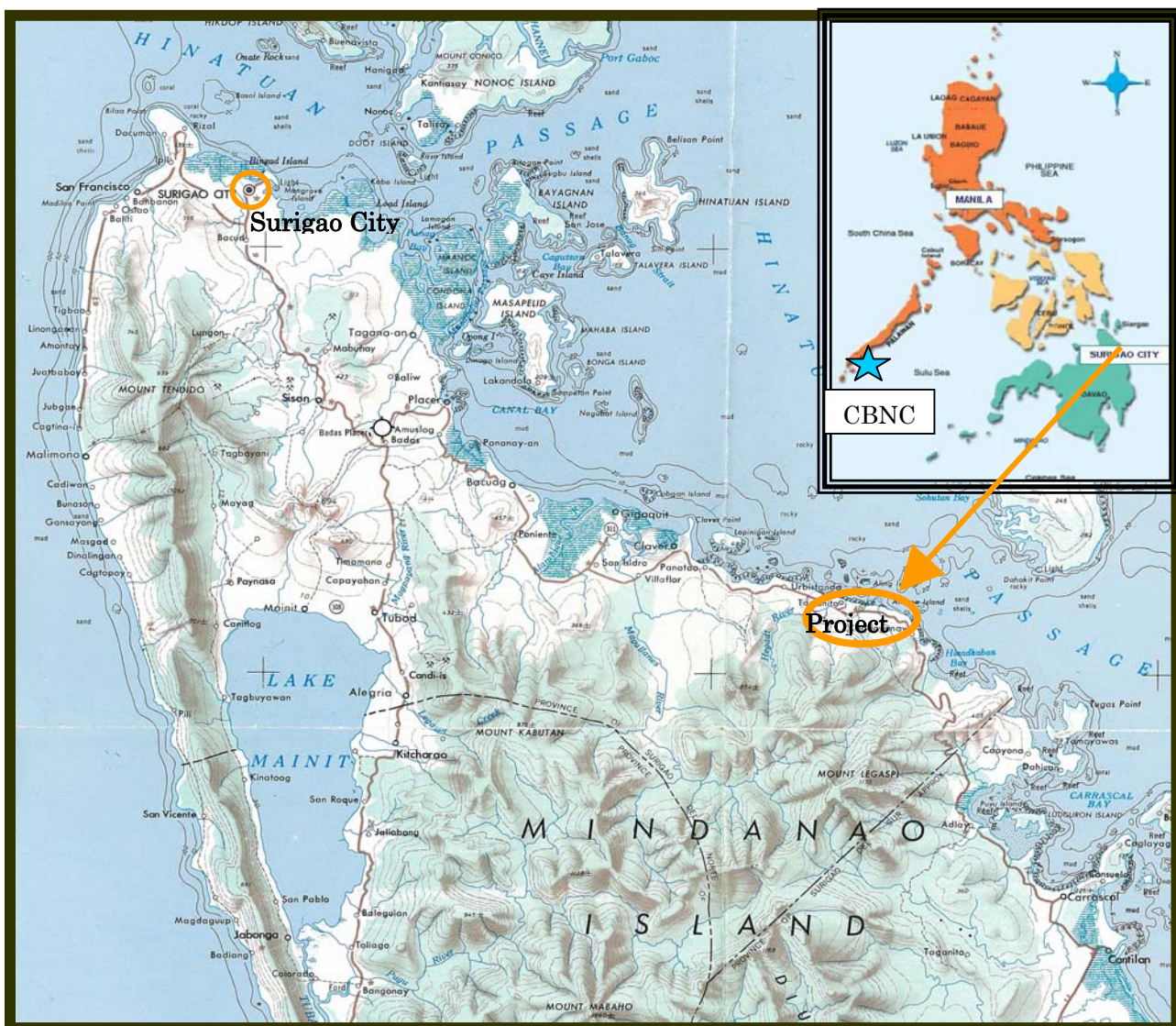
以上

<参考資料>

タガニート・プロジェクト (Taganito Project) に関する補足説明事項

### 1. ロケーション

ミンダナオ島北部都市スリガオ市から車で約1時間10分

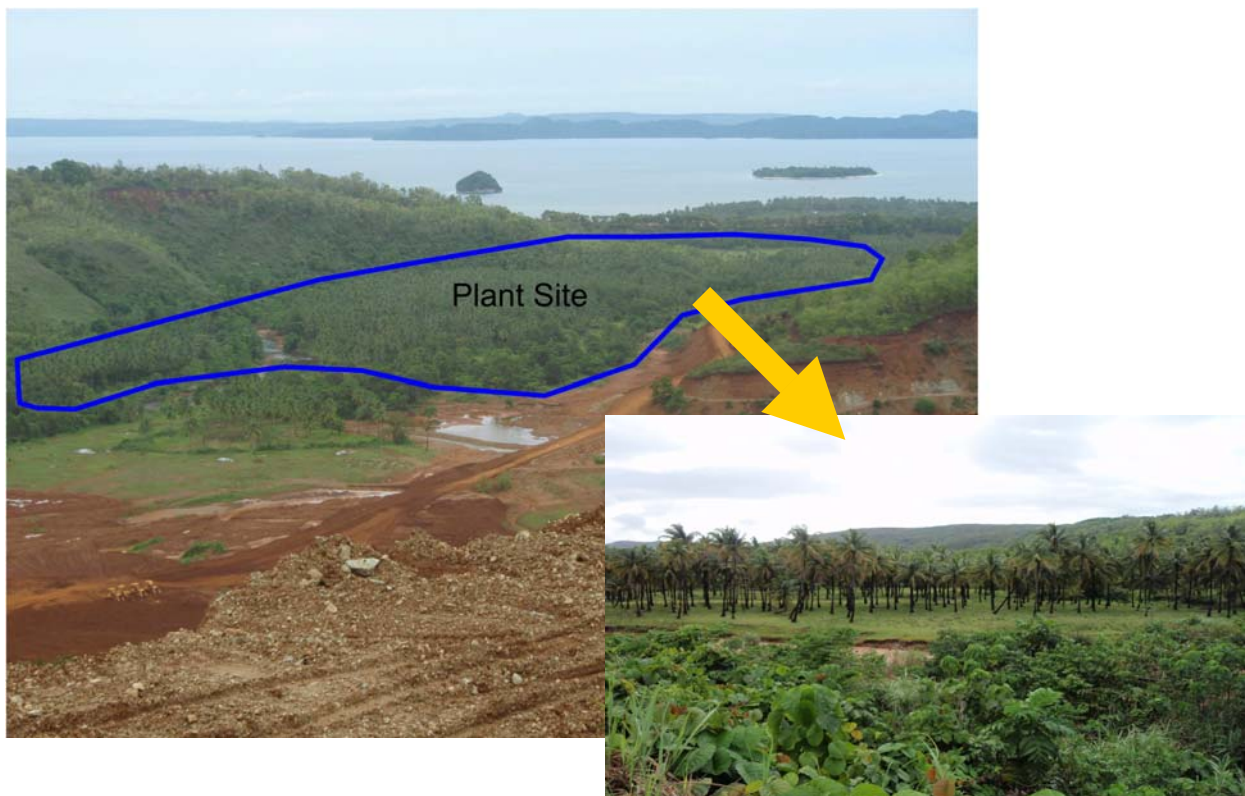




## 2. 現地写真

### 1) 工場建設予定地

現況は、ココナッツ等の人工林



### 2) タガニート鉱山(ニッケル鉱石の供給元)



### 3. 生産品および生産量

ニッケル製錬の中間製品であるニッケル・コバルト混合硫化物（Nickel/Cobalt Mixed Sulfide）を年間約 5 万トン（ニッケル量で 3 万トン、コバルト量で 約 2.6 千トン）生産する。

### 4. 原料

タガニート鉱山および近傍鉱山の低品位ニッケル酸化鉱（Limonite）を原料とする。

### 5. 生産品の用途

生産されるニッケル・コバルト混合硫化物は全量当社が購入し、ニッケル工場（愛媛県新居浜市）において、当社が独自に開発、実用化した世界で最も効率の良い MCLE（※）プロセスの原料として使用され、電気ニッケルおよびコバルトを生産する。

※MCLE：Matte Chlorine Leach Electrowinning マット塩素浸出電解採取法

### 6. THPAL 社の出資構成

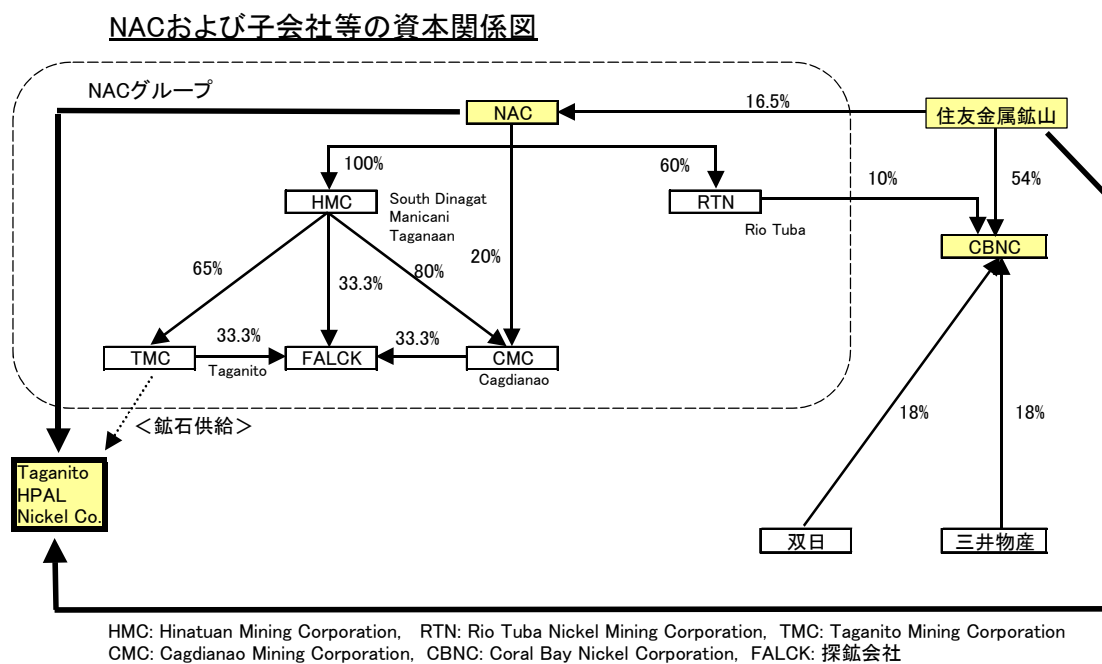
THPAL 社は現在当社 100%子会社だが、今後 NAC も同社に出資する。また、さらに出資者を募ることを検討する。なお、いずれの場合も当社が 50%超を出資するものとする。

### 7. NAC (Nickel Asia Corporation)の概要

- 1) 所在地 フィリピン共和国マニラ・マカティ市
- 2) 資本金 411 百万ペソ
- 3) 主要株主

M.B. Zamora Jr.	37.0%
P.T.Ang	18.6%
L.J.L.Virata	18.2%
住友金属鉱山	16.5%
- 4) 主要役員 会長 M.B. Zamora Jr.  
社長 G.H. Brimo
- 5) 売上高（連結） 2008 年度 約 56 億ペソ
- 6) 主な販売先 CBNC 他

7) NAC 資本関係図



8. Coral Bay Nickel Corporation プラント



(左：第2工場 右：第1工場)

以上